

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">日本語教育実習 A</p>	<p>対象学科・学年 文学部日文3 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">樋口 裕子</p>
<p>授業テーマ</p> <p>実際に授業を計画し、実施し、評価する。</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>この授業は、後期の「日本語教育実習 B」も履修することを前提としている。 前期は、具体的な外国人の日本語学習者を対象として、どのような内容が学習者に役立つかを考えながら、コースデザインを行う。同時に、各自の担当を決め、教案作成・発表を行う。 夏休み（期間は相談して決める。昨年度は9月上旬～中旬）に実習を行う。他に中国山東省（威海外国語進修学院）で実習を行う可能性もある。夏休みの活動は後期の「日本語教育実習 B」の授業として振り替える。</p>		
<p>評価方法</p> <p>前期の「日本語教育実習 A」については、以下の2点により評価する。 ・授業への貢献度（出席回数、他学生の発表へのコメントの内容） ・実習準備としての発表</p>		
<p>テキスト</p> <p>特に指定しない。適宜授業中にプリントを配布する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>授業中に指示する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p><前期（「日本語教育実習 A」）></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の進め方について 2. コースデザインについて（1） 3. コースデザインについて（2） 4. コースデザインについて（3） 5. コースデザインについて（4） 6. 教案・教材の作成・発表・検討（1） 7. 教案・教材の作成・発表・検討（2） 8. 教案・教材の作成・発表・検討（3） 9. 教案・教材の作成・発表・検討（4） 10. 教案・教材の作成・発表・検討（5） 11. 教案・教材の作成・発表・検討（6） 12. 教案・教材の作成・発表・検討（7） 13. 教案・教材の作成・発表・検討（8） 14. 教案・教材の作成・発表・検討（9） 15. まとめ <p>参考として、後期「日本語教育実習 B」の予定を記す。</p> <p><夏休み></p> <p>4日前後の実習、および、その準備（学内での合宿を含む）を13回分の授業とみなす。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ～ 5. 実習準備（1）～実習準備（5） 6. ～13. 実 習（1）～実 習（8） <p>★実習の実施時期については相談して決める。昨年度は9月に実施している。 ★実習については、中国山東省威海外国語進修学院で行う実習を選択できる可能性もある。詳しい内容説明は授業中に行う。</p> <p><10月></p> <ol style="list-style-type: none"> 14. ～15. まとめ（1）～まとめ（2） 		